

JFE福山書道部

天満屋で第48回作品展

17人が漢字・かななど出品



り組む特別コーナーは今回「蘇る日用品」と銘打ち、しやもじや巻きす、鍋つかみ、鍋敷きなどの台所用品に文字を書いて展示し写真下。スイカのイラストを描いたり、竹を貼り付けて涼しさを演出した作品など、工夫を凝らした書が会場に華を添えた。

「部員たちは月三回集まっ

JFEスチール西日本製鉄所福山書道部による「第四八回鋼友書作品展」が8月8-13日、福山市元町の福山天満屋三階催場で行われた。

社員やOBらでつくる同部の部員のうち、一七人が漢字・かな作品などを展示。日々の練習の成果を発揮した多種多様な書が並んだ。「笑顔」や「覇気」といった文字でポストコロナの明るい日常を感じさせるような作品もあり、来場者から注目を集めていたし写真上。

また毎年テーマを決めて取

ロボットプログラミング競技会

小中生が試行錯誤し熱戦

コアシステムズが開催

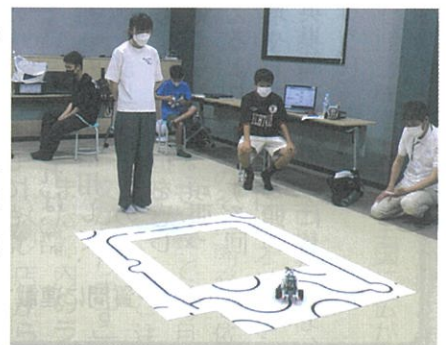


て練習しており、多くの方に作品を見ていただくことが励みになる」と、出品者で指導にも当たる大田桂水さん。「二年後は五〇回記念展となるので、皆で特別企画を考えたい」と話していた。



事務処理系アプリケーションソフト開発・販売などの㈱コアシステムズ（福山市南蔵王町三一五―一〇）が運営する、小中学生向けロボットプログラミング教室の受講生による競技大会が8月20日、同社で実施された。

三回目の開催。午前は受講二年目、午後は受講三年目の児童生徒による競技が行われ



た。このうち午後の部には五人が出場。直線やT字路、円形の曲がり角などがあるコースをロボットに自走させた。二分以内で三周し、完走した際の残り時間がポイントとなる仕組みで、計四回走って合計ポイントを競った。

出場者はコースをうまく走らせるためのプログラミングや試走を重ねた上で、本番ではスタートからゴールまでロボットが走る様子を真剣なまなざしで見つめたし写真上。制限時間内に完走できなかったロボットもあったが、子供たちは諦めずにプログラミングをやり直し、競技に臨んでいた。

27日には一年目の受講生による競技があった。同社は2019年度からプログラミング教室を開いている。

ハワイ・マウイ郡大規模火災 福山市が義援金受け付け

福山市は、親善友好都市の提携を結んでいる米ハワイ州マウイ郡で発生した大規模火災の被災者を支援するため、義援金を募集している。

福山市役所のほか、松永支所▽北部支所▽東部支所▽神辺支所▽瀬支所▽内海支所▽沼隈支所▽新市支所▽加茂支所▽芦田支所の計一カ所に当面の間、募金箱を設置している。時間は開庁日の8時30分-17時15分。募るのは義援金のみで、救護物資は受け付けていない。

福山市とマウイ郡は2008年に親善友好都市となり、相互訪問などの交流事業を定期的に実施してきた。今年の「福山はら祭」では同郡からの一行が四年ぶりに来福したほか、7月には枝広直幹市長や市議会の訪問団が同郡を訪れていた。

8月8日に発生した山火事は強風の影響もあって市街地に燃え広がり、観光地として知られるライナが壊滅的な被害を受けるなど、米国で発生した山火事の被害としてはこの一〇〇年で最悪とされる。